

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	村道平大股線道路改良事業	野迫川村	4,400,000	4,400,000	総事業費 4,633,200

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	村道平大股線道路改良事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		野迫川村			
交付金事業実施場所		野迫川村大字平地内			
交付金事業の概要		<p>当該道路は、安全に車両が通行できない箇所が生じているのが現状であり、昭和62年に供用開始した住民生活に不可欠な道路で、供用開始以来大規模な舗装改修等は行われていません。又当村は、標高の高い中山間地域であり、冬場は積雪や凍結が頻繁に発生し、雪かき等による老朽化が激しく、舗装面のひび割れが著しく、まだわだち掘れが顕著であるため、道路改良を実施します。</p> <p>工事延長 L=60.0 土工 V=112.0㎡ 舗装工(表層工) A=295.0㎡ 舗装工(上層路盤工) A=279.0㎡ 舗装工(下層路盤工) A=279.0㎡ 重力式擁壁工 V=32.0㎡ 舗装版切断工 L=10.0m 舗装版破碎工 A=279.0㎡ 防護柵設置工 L=26.0m</p>			
総事業費		4,633,200	交付金充当額	4,400,000	
			うち文部科学省分	0	
			うち経済産業省分	4,400,000	
交付金事業の成果目標		平成26年度より当交付金を用いて、当該路線のひび割れや、わだち掘れが激しく、安全で快適な交通に支障をきたしている箇所を改良し、事故防止に努めてきました。今年度も、路面の平坦性を保持することにより村営バスの運行路線及び観光施設へのアクセスの際の事故防止、快適な運転に寄与することを目的とします。			
交付金事業の成果指標		要改修距離1.2kmの内、路面改修(延長60m、舗装面積295.0㎡)、及び防護柵設置(延長26m)を実施します。			
交付金事業の成果及び評価		平成26年度より当該路線改良事業を実施しており、26年度には路面改良(延長58.6m、舗装面積375.0㎡)及び防護柵設置(延長16.0m)、27年度には路面改良(延長139.0m、舗装面積690.0㎡)を行うことで、事故の防止や安全な車両の運行に寄与してきました。今年度も路面水により路肩が弱くなっていた箇所を重力式擁壁を施工することで路肩の安全性を確保し、防護柵(延長26m)を設置することができました。また、既設舗装のひび割れ、わだち掘れ等の道路路面を整備し(延長60m、舗装面積295.0㎡)、路面の平坦性を保持し交通事故の防止、安全な車両の運行に寄与することができました。引き続き、事故防止、安全・快適な運転ができるよう努めていきます。			
交付金事業の契約の概要					
契約の目的		契約の方法等		契約の相手方	
道路工事		指名競争入札		(株)グランテック	
				契約金額	
				4,633,200	
計				4,633,200	
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無		交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	
				該当なし	